

冬の交通事故防止運動

60年12月11日～61年1月10日

無事故でつなごうゆく年・くる年

この運動は広く県民の交通安全意識の高揚を図り、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけることにより交通事故防止の徹底を期すため、お互いに協力し合うことを目的としています。

特に年末年始の飲酒の機会が多いシーズンを迎えて、飲酒運転追放意識を高めるとともに、冬期特有の道路条件の悪化に伴うスリップ事故及び踏切事故の防止並びに歩行者などの交通事故防止の徹底を図ろうというものです。

- 重点目標**
1. 飲酒運転の追放
 2. 踏切事故の防止
 3. スリップ事故の防止
 4. 歩行者・自転車利用者の事故防止

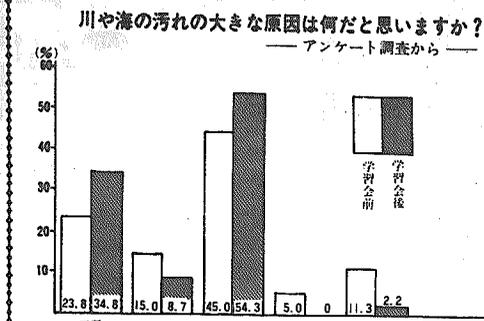
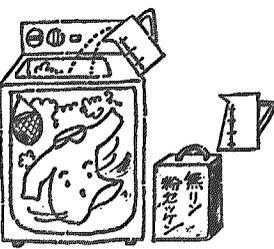
家庭で話し合っ

飲酒運転は絶対にしない、させないよう話し合いを重ね、忘年会・新年会など飲酒が予想される場合は車のカギを預るなど家庭から飲酒運転追放の意識を高めてください。

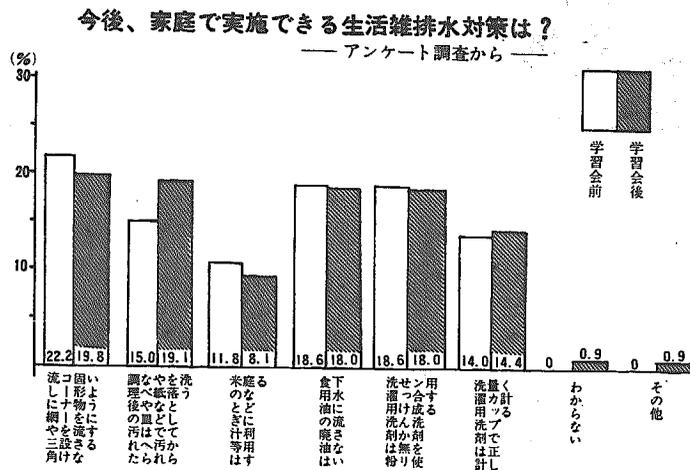
また、子供や老人に対しても道路での危険な行動をしないよう話し合っ、交通事故から身を守るよう心掛けてください。

特に降雪、凍結時、積雪での自転車・二輪車の利用は自粛しましょう。

風呂の残り湯はいつきに抜かないようにしましょう。浴槽は小さいものでも約二



生活雑排水 鳥屋野



食 べ物の残りカスや調理くずなどは、なるべく流さないように。水と一緒に残りカスなどが流れないよう、ストレーナー（流しについているこし器）は、できるだけ目の細かいものを利用しましょう。

調理くずや食べ残しなどは、生ゴミとして出すようにしましょう。また、生ゴミは土に埋めると、植木や花などの肥料としても使えます。

各家庭でできる生活雑排水対策 さつそく今日から実践を



古 くなつた油をそのまま流しに捨てないように。油を流しにそのまま捨てると、水を汚すこととはもとより、パイプ詰まりの原因にもなります。

油を捨てるときは、古新聞紙などに吸い込ませたりしてゴミとして捨てましょう。

洗 濯には石けんや無リン洗剤を利用し、使いすぎにも注意しよう。

洗剤には、汚れを落とす力を強めるためにリンが含まれていることがあります。リンはアオコや赤潮などの発生の原因になり、水を汚したり臭いのもとになります。

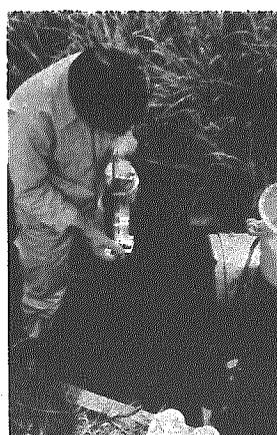
洗濯をするときは、石けんや無リン洗剤を利用しましょう。

百リットル入りです。それをいつきに抜いてしまうと、ためマスに沈殿していたゴミがわきあがって流れ出してしまう。

水を汚さないためにも、風呂の水は洗濯に使ったり、掃除、まき水などに利用し、一度に流す量を少なくするように心がけましょう。

排水が河川・湖沼を汚している

濁は環境基準値の約2倍の汚れ



水質検査採取作業
団地内の各家庭からの排水がここに集まっている。

国や県と村が一緒になり、農協第一団地を中心にした七十戸を対象に、生活雑排水発生源対策のためのモデル地区に設定して、アンケート調査

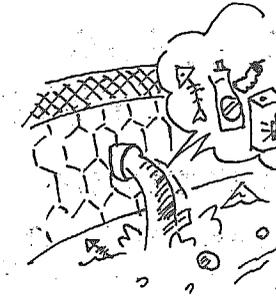
や学習会及び各家庭でできる浄化対策を実践しての、対策前、対策後の水質検査などが行われています。

十月十八日の第一回学習会

生活雑排水発生源対策
ちよつとした工夫で水質浄化

では、発生源対策の講話やスライドなどが行われ、水質汚濁の原因の認識を新たにするとともに、水質検査で効果を確かめるための各家庭での対策方法や、試供資材（三角コーナー・無リン洗剤など）が配布されました。

水質検査は、対策前（十月十五日・十六日）、対策後（十月二十二日・二十三日・二十五日）と行われ、県で分析を行っているところで、詳しい分析結果はまだ出ていませんが、そのなかで、CODとBOD、SSの数値については、別表のとおりとなり、各家庭でちよつとした工夫をすることによって、水質汚濁を減らすことができるという結果が出ています。



(別表) 水質検査結果(一部)

	対策前値	対策後値	削減率 (%)
総 COD	20.9	20.9	100
溶解性 COD	13.3	12.3	92.5
総 BOD	27.1	23.9	88.2
溶解性 BOD	13.4	10.1	75.4
SS	29.2	16.8	57.5

SS：浮遊物質

用語

COD 化学的酸素要求量
水中の有機物を酸化剤で化学的に分解するときに消費される酸素の量で、海などの汚れの程度を表わします。数値が大きい程、汚れていることを表わします。

BOD 生物化学的酸素要求量
水中の有機物が微生物の働きによって分解される際に消費される酸素の量で、川などの汚れの程度を表わします。数値が大きい程、汚れていることを表わします。

台所や風呂などから出る生活雑排水が河川や湖沼を汚している、といつてもピンとこないかも知れませんが、実は、血に似た食べ物のカスとか洗濯の污水が直接、川などに流れ込んでいるためです。

新潟市域に残された数少ない自然である鳥屋野濁もCOD（化学的酸素要求量）は、環境基準（五mg/l）の約二倍という数値で水の汚れはひどくなる一方です。その大きな原因は、私たちの家庭雑排水によるものです。

今の状態で流れ込んでいます。河川など流れのある水には、自浄効果といつて、多少の水の汚れはきれいにする力があります。しかし、何百世帯、何千世帯分の汚れた水が大量

に流れ込んだのでは、自浄効果も期待できなくなってしまう。

そこで、各家庭で生活雑排水を出すときは、どんなことに注意したらよいのでしょうか。